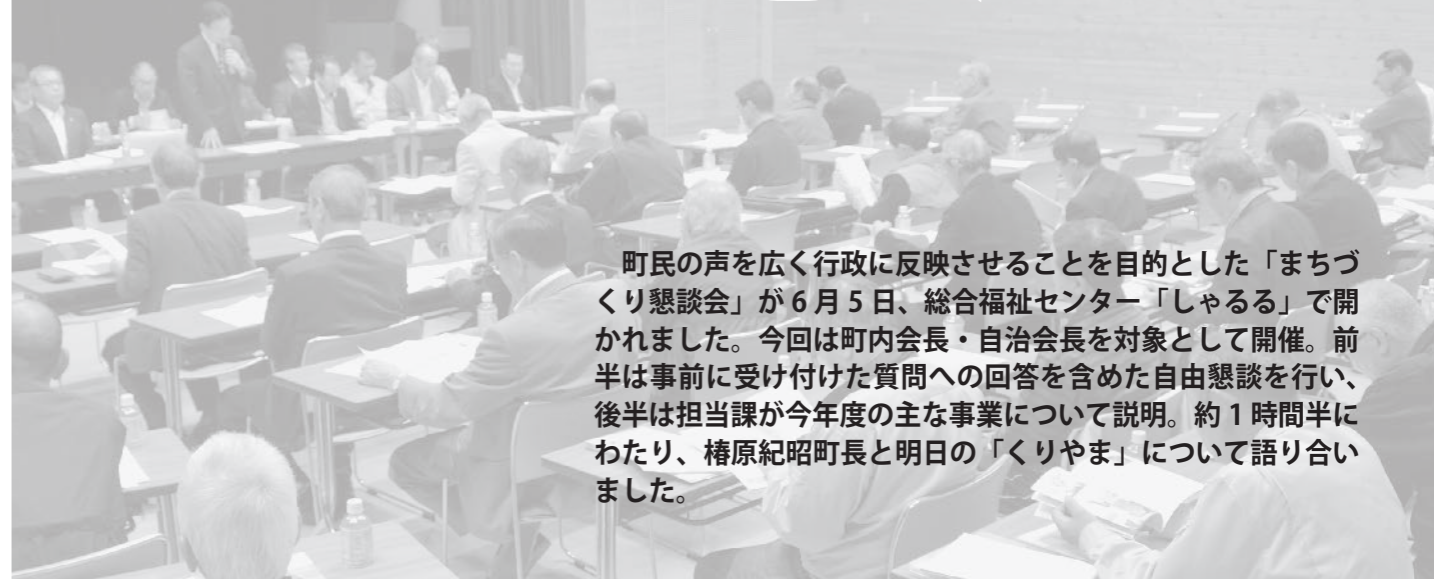


# 明日の「くりやま」を語り合う まちづくり懇談会



町民の声を広く行政に反映させることを目的とした「まちづくり懇談会」が6月5日、総合福祉センター「しゃるる」で開かれました。今回は町内会長・自治会長を対象として開催。前半は事前に受け付けた質問への回答を含めた自由懇談を行い、後半は担当課が今年度の主な事業について説明。約1時間半にわたり、椿原紀昭町長と明日の「くりやま」について語り合いました。

## 情報提供内容

町からの情報提供として、担当課から6つの内容を説明しました。

- ①個人情報保護法の改正に伴う会員名簿の取り扱い  
(総務課・経営企画課)
- ②出前型政策・施策説明会「栗山町のまちづくり」の活用(経営企画課)
- ③避難行動要支援者名簿に係る取り組み  
(総務課)
- ④健康・介護予防・福祉講話  
(保健福祉課)
- ⑤健康講話・健康チェック  
(保健福祉課)
- ⑥コミュニティ・スクール  
(教育委員会)



※紙面の都合上、懇談内容の一部のみを掲載しています。  
町ホームページで、懇談会の議事録や町からの情報提供資料を閲覧することができます。

トップページ→「行政・まちづくり」→「協働のまちづくり」

**Q** 昨年は約2億円の納税がされたということだが、今、総務省では返礼品を3割程度にする指導が入っているように聞いている。栗山町ではどのよ



**ふるさと納税の返礼品**

**A** うにとらえているのか。本町としては、近隣の自治体の状況をみながら、今は従来通りの形で実施している。ふるさと納税の返礼品の調達はいくつまでも地元産の農産物や、地元で生産されるものを広く全国にPRしたいという意向から調達している。調達の結果が全体の4割程度になったということ、決して意図的に高額化させようとしたものではない。現状では従来通りということに対応していく。

## 新工業団地への企業誘致

**Q** 新しく出来つつある角田の新工業団地に早期に有徳企業が入り、角田地域の人口増、特に小学生以下の子どもの増加を強く期待する。

**A** 栗山工業団地は、平成28年度末現在で30社の企業が進出しており、残り5区画29881㎡が分譲中である。また、現在造成中の第4工業団地は分譲面積27848・9㎡で、7区画を整備し、平成30年度より分譲予定。現在、この工業団地に企業を誘致すべく、企業訪問活動や道内外の企業が参加するイベントなどに参加し、企業との情報交



換などを通して、本町の工業団地のPRに取り組んでいる。数社から進出に係る照会を受け交渉を進めている状況。今後、より一層にぎわいが増すよう、こうした取り組みを推進していく。



## 道路の補修



**Q** 南角田内に、凸凹を直しても元に戻ってしまう道路があり、すぐ直してほしい。また、大雨などに流される土砂流出地もある。対策をお願いしたい。

**A** 意見の頂いた修繕箇所を建設水道課で現地を確認し対応する。また、土砂の流失は個人の畑からの流失と思われる。産業振興課を通して各戸に土砂が道路に流失しないよう協力をお願いしていく。



## 独居世帯の連絡体制

**Q** 独居世帯の緊急時の連絡方法などは、どのようになっているのか。

**A** 役場に一報をいただければ担当課により、できるだけ早期の対応を行っていききたい。高齢者の身体状況に不安のある方についてはさまざまなサービスがある。今後、情報をいただければ町の方で早期に自宅などを訪問し、ご家族と協議するなどして今後、緊急時の対応が遅れることのないように、早期に対応していきたい。

## 不法投棄の対応

**Q** ゴミステーションの外に不法投棄した袋が破れてあちこちに散らばってしまっている。お助け袋を何枚か用意してもらえないか。



**A** 可能ではあるが、毎週のように出てくる場所もある。町内会長などにご迷惑をかけてしまうので、不法投棄のごみがあれば連絡していただければ回収する。